



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」 NO.18 (文責 永杉尚久)

R3年度南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

夢の実現へ向かって

入学試験真っ最中！

1月8日からスタートした3年生の入学試験は、現在県立高校の前期を終えて前半戦を折り返したところです。新型コロナウイルス感染拡大が急激に広がる中で、試験以外にも気を遣う毎日です。

2月末までのあと一月余り、3年生には自分の夢に向かって一歩踏み出す大切な時期を、しっかりと乗りきって欲しいと願っています。

心のアンケート結果

12月にアンケートを実施しました。主な内容の結果は、下の表の通りです。

R3心のアンケート結果 (%)

質 問	はい	いいえ
①学校が楽しい	88	12
②授業が分かる	76	24
③自分に自信がある	67	33
④役に立っていると思う	63	37
⑤いじめられたことがある	2	98
⑥いじめを見たり聞いたりしたことがある	6	94

学校生活に満足している生徒とそうでない生徒がいることが分かります。

また、自己肯定感や自己有用感を感じていない生徒がかなりの割合でいることも分かりました。

いじめの訴えもありました。内容は、「ひやかし、からかい」「物を壊された」「うたれたり、蹴られたりした」「ネットに書き込みをされた」等です。訴えがあった生徒には、担任が聞き取りを行い被害・加害両方の話を聞いて、家庭と連携しながら解決に向けた指導を行っています。その後いじめは収まっていると生徒は答えていますが、今後も注意して見ていきます。

いじめは、見ようとしなければ見えませんし、分かりにくいものです。学校で見落としている部分があるかと思います。ご家庭において、お子さんの様子に変化があるときは遠慮なくご相談ください。➤

今日の論語

【今日の論語】 子曰わく、「人にして信無くば、人の信を以てして信を以てす。」と。

先生は言われた、「人としての信用がなければ、何事もうまくいくはずがない。」と。

仕事をやり遂げたり、何かを創りあげたりする時には、自分一人ではできません。仲間とのチームワークが必要です。そのためには、仲間との信頼関係を構築しなければなりません。信頼を築く第一歩は、『あいさつ』だと思います。あいさつは、心の扉を開く大切な鍵だと考えます。その上で、しっかりとコミュニケーションをとることで。

➤ 学校にはいじめ相談の窓口を設置しています。担任や管理職もお話を伺います。

併せて表の①～④の課題についても生徒が充実した学校生活を送れるように様々な角度から知恵をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。

大里選手来校

南関中出身でプロゴルファーの大里桃子さんが1月18日に来校されました。2年生の体育の時間に合わせて、スナッグゴルフ(ゴルフの簡易版)の指導をしていただきました。間近に指導を受けて「緊張した」「きれいかった」など生徒たちは話していました。夢を持つこと、努力することの大切さを直接ご本人から聞き、生徒たちの心に響くものがあったのではないかと思います。

